

うしお



令和4年度
(2023年2月発行)

静岡市立清水第五中学校PTA広報誌

白折言

日差し以上に
五中生の闘いが熱かった
体育祭の一日。



1年



日本平動物園へ遠足に行きました。どの公共交通機関を使って、どのように向かうのか、班で事前に話し合い、動物園を目指しました。公共の場での過ごし方、仲間との協力することなど多くのことを学び、成長しました。

土屋

2年



2年生は高校説明会や翔洋高校・東海大学を訪問して、中学校との時間割りの違い、未来につながる学び・研究について学習しました。また、水上バス乗降場付近で清掃活動を行い、地域を大切にしたい思いを深めました。

戸塚

羽衣まつり：三保こども能楽発表 2022.10.8



「ピンチをチャンスに変える」台風の影響で、学校は休校。自宅も断水。佐野登先生との能練習もなくなってしまい、大きなピンチを迎えた今年度。必死の練習、追い込みによって、大成功を収めました。舞台上で、ひとり一人がヒーロー、ヒロインのように輝いていました。

和田



マラソン大会 結果

- ▶ 1位 遠藤凜太郎 (3年2組)
- ▶ 2位 加納 琉生 (3年2組)
- ▶ 3位 糠谷 葉琉 (1年1組)
- ▶ 1位 矢沢 美桜 (2年2組)
- ▶ 2位 森田 雫 (2年2組)
- ▶ 3位 高橋 那奈 (1年2組)



12月7日(木)マラソン大会が行われました。
マラソン大会は50年以上つづく五中の伝統的な行事です。

曇一つないマラソン日和となり、富士山が見守る中、参加者全員が約4キロのコースを完走しました。

苦しいことにも本気で挑戦できたくましい五中生です。お疲れ様でした。 望月



絶好のコンディションと富士山の絶景の中、マラソン大会が行われました。日頃の練習から真剣に自分と向き合う姿、互いに声を掛け合い、高め合う姿が見られました。閉会式での爽やかな顔が充実感を物語っていました。

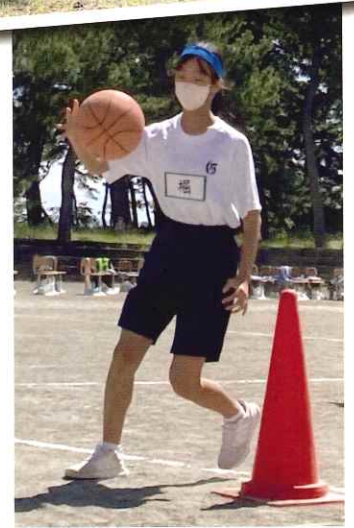
土屋

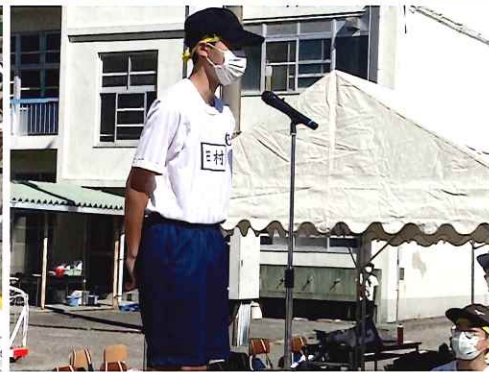
一致団結～勝利をつかめ！ 最高の体育祭



今年黄組は残念ながら負けてしまいましたが、3年生を中心に競技に力いっぱい取り組み、応援も大きな声で行いました。最後には、青、黄両組で生徒会本部役員に大きな拍手を送り、さわやかな体育祭になりました。

村越



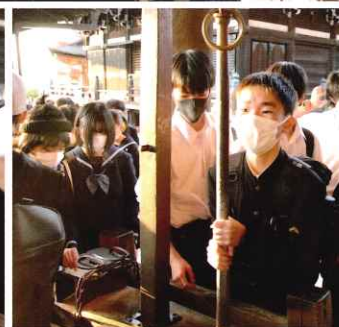


「一致団結～勝利をつかめ! 最高の体育祭」を胸に、勝つために全力で挑戦する姿や長縄でチーム一体となって新記録に挑む姿、学級対抗リレーで走っている人を鼓舞する姿、たくさんの笑顔を見ることができた最高の体育祭でした。

長田



3年生は「学問を修めて楽しむ3日間 Don't think, feel」をスローガンに、
①古都の体感 ②民泊で人との関わり
③三保のPRと良さの再確認 ④マナー
学習 ⑤キャリア学習を目的に、11月
16日(水)～18日(金)に奈良・京都へ
修学旅行へ行ってきました。 芹澤





3年ぶりにPTA奉仕作業が行われました。運動場では側溝掃除などを行いました。側溝には3年分の泥がたまり、泥だらけになりながら、深い底までしっかり泥を取り除くことができました。ありがとうございました。

教頭

5組の活動

今年は作業学習でブーケ作りに挑戦しました。畑で育てた花や集めた木の葉を使って、3種類のタイニーブーケを作り、保育園に届けたり、みほしるべ土曜市場で販売したりして、たくさんの方に喜んでいただきました。



● 地域の保育園へ



● みほしるべで販売



● 吹奏楽部へ
(コンサートは中止になってしまいました)

ごあいさつ：PTA会長／遠藤直人

日頃より、PTA活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度も、コロナウイルス感染拡大が収まらず、制限のある学校生活となりました。しかし、9月には熱中症が心配されるほどの快晴の下、2年ぶりのPTA奉仕活動が実施され、100名以上の保護者の協力もあり、無事体育祭を迎えることができました。また台風15号の影響で1週間の断水という今まで経験したことのない中、羽衣まつりでの「能の発表会」が無事開催でき、3年生の生き生きとした姿を間近で見られたことは、親として大変うれしく思います。

先生方のきめ細かい指導や、保護者の皆様の協力、そして地域の方々の支えがあったからこそ、様々な行事が実施できたことを実感する1年となりました。そして、その1つ1つの行事に向かって「自分から」取り組む生徒たちの輝く姿を、たくさん見ることができた1年でもありました。

今後も、学校・家庭・地域が一丸となり、子どもたちの成長を支えていけるようご協力をお願いします。



清水第五中学校区学校目標「郷土を愛し たくましく生きる子」 ごあいさつ：校長／海野弘光

本年度より、清水第五中学校区の静岡型小中一貫コミュニティ・スクールが始まりました。その第1回学校運営協議会が4月に行われましたが、その際、まず学校教育目標を地域の皆さんに知っていただくということになりました。それ以降、3校それぞれが発行する学校便りに必ず掲載することで、少しずつ学校教育目標が地域の皆さんに広まっているようです。

その例として12月4日の防災訓練に向けての取り組みがあります。10月頃に中学生の方から地域の担当の方に連絡を取り、防災訓練に向けての準備を一緒になって取り組む活動を始めました。9月の台風被害のこともあってか、中学生も地域の担当の方も非常に積極的に企画や準備を進め、また当日、担当の方が中学生の活躍する場も作ってくださったことで、中学生にとっては達成感を得られた充実した防災訓練になったようです。自治会長さんたちからも例年にない良い訓練になったとご報告をいただきました。

「郷土を愛し たくましく生きる子」を育てるために、学校でできること、家庭でできること、地域でできること、それぞれの大人が真剣に小・中学生と向き合うことで、その可能性は増えていくのだと思います。この防災訓練は継続し、中学生が活躍できる活動になるよう学校と地域が連携して進めていきます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



広報委員 加納恵美(委員長)／宮城島毅子／窪田六美／横田秀美／戸田麻里子
／濱名智江子／高橋美加／佐々木由佳子／榎本友美